令和７年度事業報告書

宝塔保育園

１．保育園の運営

（１）定員　　４５名

（２）年齢別、初月別入所児童数

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	備考
０歳児	４	５	６	９	９	９	１１	１１	１１	１２	１２	１２	
１歳児	１９	１９	１９	１９	１９	１９	１７	１７	１８	１７	１７	１７	
２歳児	２１	２２	２２	２２	２２	２２	２２	２２	２２	２０	２０	２０	
計	４４	４６	４７	５０	５０	５０	５０	５０	５１	４９	４９	４９	

（３）職員数　令和７年度初 ２４名　　年度末２２ 名

（４）職員の移動等

①採用　R7.4.1 付　坂本麻理奈（看護師）R7.6.9 付　高山奈美子（看護師）

②移動　R7.4.1 付　総社保育園より移動　美才治梨紗（保育士）

③退職　R7.6.8 付　坂本麻理奈（看護師）R7.12.15　小倉詩歩（調理員）R8.3.24 付 高山奈美子
R8.3.31 付　今井三枝子、鎌塚恵美、樺澤英里奈、竹之内祐子

（５）会議の開催状況

・職員会議　毎月１回実施。保育に支障のない範囲で職員が参加し、行事、各事業、日々の保育の様子について気になる点を話し合った。また、外部研修会参加職員の報告を行い、それを基に園内研修会で話し合い保育の向上に反映。

・保育会議　毎月１回実施。各クラスの様子や個人的な対応の共有、今後の課題について検討した。

・給食会議　毎月１回実施。給食内容の検討、行事の打ち合わせ、献立の反省をした。

２．保育の実施状況

（１）保育目標（方針）

こころも　からだも　すこやかに

（２）保育時間（月～土）　午前７時４５分～午後６時４５分

延長保育時間：午前７時４５分～午前８時００分

午後４時００分～午後６時４５分

（３）保育内容

○保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで子どもの情緒が安定するような保育を心がけた。

３．給食の実施内容

○加工食品は極力使用せず、季節の食材を取り入れた献立を実施した。

○アレルギー体質の子どもには「食物アレルギー対応申請書兼同意書」「食物アレルギーに関する調査票」を保護者より、「保育関係施設におけるアレルギー疾患生活管理指導票」をかかりつけ医より提出してもらい、家庭と連絡を取り合いながら、除去食で対応した。

（１）　乳児

家庭で飲んでいるミルクを園でも使用した。離乳食の場合、初めての食材は家庭で口にしたものを取り入れた。その子の月齢や離乳食の進み具合を考慮し、喫食状況を連絡帳や口頭で知らせ家庭と

園で連携を取りながらスムーズに離乳食が進むようにした。

（2） １～２歳児

完全給食に加え、１０時と１５時のおやつを実施。

４．健康管理の実施状況

（1）園児

①小児科　　年２回（９月・２月）嘱託医による健康診断を実施。

②歯科　　６月に嘱託歯科医による検診を実施。

結果票を保護者へ配付し、フッ素塗布等で受診してもらうよう話した。

（3） 職員

① 定期健康診断　　年１回（２月）総社町深沢医院にて全職員に健康診断を実施。

② 検便　　月１回、専門業者に依頼し「赤痢菌、サルモネラ菌、O-157」の検査を副園長、主任保育士、調理担当者４名、０歳児担当者４名、看護師１名、計 11 名に実施。

また、「ノロウイルス」の検査を調理担当者４名に実施。

５．安全対策の実施状況

（1）地震、火災、災害、消火訓練

月１回、いろいろな場所からの火災、地震、災害等を想定し避難訓練を行った。

１０月３日、前橋西消防署の立会いの下、火災時の避難誘導、通報、消火訓練を行い指導を受けた。

（2）防犯訓練

６月２７日、１月１６日に、不審者出現を想定した防犯訓練を行った。ドアの施錠、防犯ベルの使用等を行い不審者の動きに合わせ対応を行った。

令和７年度　事業報告書

総社保育園

１．保育園の運営

（１）定員　　８０名

（２）年齢別、月別入所児童

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	計
１歳児	２	２	２	２	２	２	３	３	３	３	３	３	30
２歳児	３	３	３	３	３	３	３	３	３	３	３	３	36
３歳児	２７	２７	２７	２７	２８	２８	２８	２８	２８	２８	２８	２８	332
４歳児	２５	２５	２５	２５	２５	２５	２５	２５	２５	２５	２４	２４	298
５歳児	２１	２２	２２	２２	２２	２２	２１	２１	２１	２１	２１	２１	257
計	７８	７９	７９	７９	８０	８０	８０	８０	８０	８０	７９	７９	953

（３）職員数　令和７年度初　２２名　　年度末　　２３名

（４）職員の異動等

①採用　年度初２名　　途中１名

（常勤保育士１名、非常勤保育士１名、調理員１名）

②退職　年度末２名（自己都合退職２名）

（５）職員会議の開催状況

職員会議は、毎月１回開催。保育に支障が無い範囲で参加し、行事・事業、日々の保育の様子について気になる点を話し合った。また、外部研修会参加職員の復命を行い、それを元に園内研修会で話し合い、保育の質の向上に役立てた。

クラスごとの保育会議を不定期に開催。担任と補助に入る非常勤職員と共通理解を深め、より良い保育を行えるようにした。

給食会議は、毎月１回実施。アレルギー児の確認と対応の共通理解を進めた。献立と行事に関連するメニュー等について打ち合わせるとともに、献立の反省を行い改善に努めた。

２．保育の実施状況

（１）保育目標

「やさしく　かしこく　健やかに」

（園児の姿）　○　思いやりのある子　　○　なぜに気づき考える子

○　のびのび元気いっぱいの子

（２）保育時間　　午前７時４５分～午後６時４５分

延長時間：午前７時４５分～午前８時００分

午後４時００分～午後６時４５分

（３）保育内容

保育指針に基づく月別指導計画を作成した。日々の保育内容を充実させるための週案・日案を整理し、計画的で質の高い保育の提供が行われるように心がけた。行事中心の保育にならないよう、職員会議でも周知し、子どもの主体性を重視したのびのびした保育を行うよう心がけた。保育参観や運動会、生活発表会を通して、保護者にも園での様子を見ていただき、共に成長を感じられる機会を持った。総社地区、前橋市のイベントに積極的に参加した。

３．給食の実施内容

・園独自の献立を立て、栄養価のバランスの取れた食事とおやつの提供に努めた。
・食物アレルギーの体質を持つ子どもには「アレルギー食品チェック表」「アレルギー調査表」を保護者から、除去食指示書をかかりつけ医より提出してもらい、家庭と連絡を取りながら、除去食で対応した。

４．健康管理の実施状況

（１）園児

①小児科の健診　　年２回（９月、２月）嘱託医による定期健康診断を実施した。特段の注意が必要な園児はいなかった。
②歯科医の健診　　６月に嘱託歯科医による歯科検診を実施した。
※　結果表を保護者に配布し、必要な子どもは受診するよう勧めた。
③年度当初に尿検査を行い、結果を保護者に伝えた。本年度は、全員異常なしであった。
④お口元気教室の実施。市保健センター職員による歯磨き指導をクラスごとに実施した。
⑤４歳児に看護師による視力検査を実施。気になる子には個別に保護者に伝えた。
⑥看護師による「熱中症について」「手洗い指導」「鼻のかみかた」「排泄時の拭き方」等を各クラスにて実施。健康管理、予防に努めた。

（２）職員

①定期健康診断　１０・１１月、全職員が群馬中央病院で法定の定期健診を実施した。
②検便　　月１回、専門業者に依頼し、赤痢菌・サルモネラ菌・o-157 の検査を、園長、副園長と調理担当４名が実施。毎回、異常なし。

５．安全対策の実施状況

・月１回の火災や地震を想定した避難訓練を実施し、その訓練状況について整理し記した。
・この内１回、避難訓練の様子を西消防署の職員に観ていただき、指導を受けた。
・突発的な内容を盛り込むことで「こんな時はどうすればいいか」を考え、訓練に臨むことができた。
・月１回の防犯・災害への対応を想定した訓練を実施した。
・この内の１回、市危機管理課から指導員を招いて不審者対応の実地訓練を行っていただいた。
・避難訓練計画に年２回引き渡し訓練を盛り込み、保護者協力の下、引き渡し訓練を行った。実際に引き渡しカードを使い、職員の意見をまとめ、引き渡しカードの改良を行った。
・宝塔保育園の職員と供に、西消防署の職員による救急救命（応急手当）講習を、６月に受講した。

６．保育士の資質向上の取組

・研修に自ら望んで積極的に参加することで、保育士としての意識を高く持つことができた。看護師、栄養士、調理員も意欲的に参加し、資質向上に努めていた。
・子どもの主体性を考えて行事の見直しを行った。「子どもの主体性」に関する研修に職員が積極的に参加し、共通理解をすることで、さらに意識的に子ども主体の保育が展開されるようになった。子どもの様子をしっかりと見て子どもたちにどんな環境構成が必要かを考えて保育に臨んでいた。